



2023年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2022年11月11日

上場会社名 パシフィックシステム株式会社 上場取引所 東
 コード番号 3847 URL <http://www.pacific-systems.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 渡邊 泰博
 問合せ先責任者 (役職名) 総務部長 (氏名) 土谷 稔 (TEL) 048-845-2200
 四半期報告書提出予定日 2022年11月11日 配当支払開始予定日 2022年12月15日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2023年3月期第2四半期の連結業績(2022年4月1日~2022年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第2四半期	4,351	△15.9	105	△60.9	106	△60.7	69	△62.8
2022年3月期第2四半期	5,174	25.2	269	53.6	271	48.3	187	861.5

(注) 包括利益 2023年3月期第2四半期 54百万円(△73.2%) 2022年3月期第2四半期 205百万円(268.8%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第2四半期	47.04	—
2022年3月期第2四半期	126.44	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年3月期第2四半期	8,143	5,523	67.8
2022年3月期	8,710	5,568	63.9

(参考) 自己資本 2023年3月期第2四半期 5,523百万円 2022年3月期 5,568百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期	—	62.50	—	67.50	130.00
2023年3月期	—	65.00	—	—	—
2023年3月期(予想)	—	—	—	65.00	130.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2023年3月期の連結業績予想(2022年4月1日~2023年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	10,193	△4.2	736	△3.6	741	△3.9	509	△2.2	344.55

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2023年3月期2Q	1,480,000株	2022年3月期	1,480,000株
② 期末自己株式数	2023年3月期2Q	365株	2022年3月期	365株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2023年3月期2Q	1,479,635株	2022年3月期2Q	1,479,635株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間（2022年4月1日～2022年9月30日）におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症のワクチン接種の進展や感染防止策の浸透とともに行動制限が緩和され、景気の持ち直しの動きがみられました。その一方で、ウクライナ情勢の長期化による原材料・資源価格の上昇や急激な円安の進行等による企業収益の圧迫など、今まで以上に先行き不透明な状況となっております。

当社グループが属する情報サービス業界におきましては、そのような環境の中でも、AIやIoTなどのデジタル技術を利用したデジタルトランスフォーメーション（DX）への取り組みが企業を中心に増加する一方で、資源価格の上昇などによる情報化投資の抑制・延期、半導体の部品供給不足によるプロジェクトの延伸など影響が出始めております。

このような状況のもと、当社グループは23中期経営計画（2021年度～2023年度）に基づき、主要事業の推進に取り組みましたが、一部顧客の情報化投資の抑制・延期の影響を受け、その結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は、システム運用・管理等のセグメントで増加しましたが、機器等販売、ソフトウェア開発、システム販売のセグメントで減少となり、4,351百万円（前年同期比15.9%減）となりました。損益につきましては売上高の減少及び不採算案件等により、営業利益105百万円（同60.9%減）、経常利益106百万円（同60.7%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益69百万円（同62.8%減）となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりです。

①機器等販売

売上高は前期のGIGAスクール構想案件による特需の反動や、顧客の設備投資の抑制・延期の影響などにより減少し、738百万円（前年同期比48.5%減）となりました。セグメント利益は売上高の減少により、50百万円の利益（同69.0%減）となりました。

②ソフトウェア開発

売上高は前年度から継続中のシステム再構築が終盤に入り規模縮小となったことや、顧客の設備投資の抑制・延期などにより減少し、656百万円（前年同期比20.6%減）となりました。セグメント利益は売上高の減少及び不採算案件等により、40百万円の利益（同30.2%減）となりました。

③システム販売

売上高はセンシング事業において顧客の設備投資の回復があり、また子会社において医療システムは堅調に推移しましたが、インフラサービス、生コン協組システム等において前期より減少し、1,186百万円（前年同期比4.4%減）となりました。セグメント利益は不採算案件等により、62百万円の利益（同37.9%減）となりました。

④システム運用・管理等

売上高はシステム運用支援への要員の増加、データセンタ業務の増加などにより、1,769百万円（前年同期比5.9%増）となりました。セグメント利益は売上高の増加により、544百万円の利益（同1.1%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

流動資産は、前連結会計年度末に比べて8.3%減少し、5,180百万円となりました。これは、主に現金及び預金が173百万円、仕掛品が117百万円増加したものの、受取手形、売掛金及び契約資産が766百万円減少したことによります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べて3.3%減少し、2,962百万円となりました。これは、主に有形固定資産その他に含まれる賃貸資産が45百万円増加したものの、無形固定資産に含まれるソフトウェア仮勘定が57百万円、有形固定資産その他に含まれるリース資産が42百万円減少したことによります。

この結果、総資産は、前連結会計年度末に比べて6.5%減少し、8,143百万円となりました。

(負債)

流動負債は、前連結会計年度末に比べて18.4%減少し、2,102百万円となりました。これは、主に短期借入金が250百万円増加したものの、その他に含まれる未払消費税等が245百万円、買掛金が186百万円、未払法人税等が149百万円、賞与引当金が118百万円減少したことによります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べて8.3%減少し、517百万円となりました。これは、主にその他に含まれるリース債務が47百万円減少したことによります。

この結果、負債合計は、前連結会計年度末に比べて16.6%減少し、2,620百万円となりました。

(純資産)

純資産合計は、前連結会計年度末に比べて0.8%減少し、5,523百万円となりました。これは、主に親会社株主に帰属する四半期純利益を69百万円計上したものの、株主配当金の支払が99百万円あったことによります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当連結会計年度(2023年3月期)の業績見通しにつきましては、例年以上に下期偏重の計画となっており、概ね計画通りに推移しております。通期の2022年5月13日に公表した予想に変更はありません。

当連結会計年度(2023年3月期)の業績見通しにつきましては、売上高10,193百万円、営業利益736百万円、経常利益741百万円、親会社株主に帰属する当期純利益509百万円を見込んでおります。

業績予想につきましては、現時点で入手可能な情報に基づき当社で判断したものであり、実際の業績は、経済情勢、事業運営における内外の状況変化等により、予想値と異なる場合があります。今後、何らかの変化がある場合には適切に開示してまいります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2022年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,203,691	2,377,121
受取手形、売掛金及び契約資産	2,403,447	1,637,062
電子記録債権	143,070	76,779
リース投資資産	438,955	478,076
商品及び製品	56,349	56,062
仕掛品	246,580	364,090
原材料及び貯蔵品	40,810	48,260
その他	116,645	145,031
貸倒引当金	△2,086	△1,514
流動資産合計	5,647,463	5,180,970
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	688,511	663,010
土地	531,977	531,977
その他（純額）	779,052	788,547
有形固定資産合計	1,999,541	1,983,535
無形固定資産		
投資その他の資産	430,801	368,007
退職給付に係る資産	179,105	188,172
その他	458,141	427,567
貸倒引当金	△4,286	△4,342
投資その他の資産合計	632,960	611,397
固定資産合計	3,063,304	2,962,940
資産合計	8,710,768	8,143,911
負債の部		
流動負債		
買掛金	779,383	592,490
短期借入金	-	250,000
未払費用	258,110	247,340
未払法人税等	197,223	47,675
賞与引当金	467,938	349,499
受注損失引当金	42,781	48,900
アフターコスト引当金	44,785	40,080
その他	788,067	526,903
流動負債合計	2,578,290	2,102,891
固定負債		
その他	564,121	517,572
固定負債合計	564,121	517,572
負債合計	3,142,411	2,620,464

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2022年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	777,875	777,875
資本剰余金	239,946	239,946
利益剰余金	4,499,097	4,468,825
自己株式	△737	△737
株主資本合計	5,516,181	5,485,909
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	113,460	91,254
退職給付に係る調整累計額	△61,286	△53,717
その他の包括利益累計額合計	52,174	37,537
純資産合計	5,568,356	5,523,447
負債純資産合計	8,710,768	8,143,911

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2021年4月1日 至2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2022年4月1日 至2022年9月30日)
売上高	5,174,350	4,351,401
売上原価	3,990,172	3,297,469
売上総利益	1,184,177	1,053,931
販売費及び一般管理費	914,346	948,341
営業利益	269,831	105,590
営業外収益		
受取利息	14	15
受取配当金	2,366	2,559
受取手数料	905	906
その他	1,251	1,134
営業外収益合計	4,537	4,615
営業外費用		
支払利息	2,098	1,971
支払手数料	401	402
その他	86	1,019
営業外費用合計	2,586	3,393
経常利益	271,782	106,813
特別損失		
固定資産除却損	952	33
特別損失合計	952	33
税金等調整前四半期純利益	270,829	106,779
法人税等合計	83,746	37,176
四半期純利益	187,083	69,603
非支配株主に帰属する四半期純利益	-	-
親会社株主に帰属する四半期純利益	187,083	69,603

四半期連結包括利益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
四半期純利益	187,083	69,603
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	12,367	△22,205
退職給付に係る調整額	5,923	7,569
その他の包括利益合計	18,290	△14,636
四半期包括利益	205,373	54,966
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	205,373	54,966
非支配株主に係る四半期包括利益	-	-

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用の計算

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	機器等販売	ソフトウェア 開発	システム 販売	システム運 用・管理等	計		
売上高							
外部顧客への売上高	1,434,366	827,063	1,241,147	1,671,772	5,174,350	—	5,174,350
セグメント間の内部売上高 又は振替高	4,509	4,547	4,279	3,000	16,335	△16,335	—
計	1,438,875	831,610	1,245,426	1,674,773	5,190,686	△16,335	5,174,350
セグメント利益	161,331	57,494	101,094	538,910	858,831	△589,000	269,831

(注) 1 セグメント利益の調整額△589,000千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用等であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第2四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	機器等販売	ソフトウェア 開発	システム 販売	システム運 用・管理等	計		
売上高							
外部顧客への売上高	738,654	656,726	1,186,024	1,769,995	4,351,401	—	4,351,401
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	14,127	4,366	6,745	25,239	△25,239	—
計	738,654	670,853	1,190,391	1,776,740	4,376,640	△25,239	4,351,401
セグメント利益	50,052	40,153	62,796	544,581	697,584	△591,993	105,590

(注) 1 セグメント利益の調整額△591,993千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用等であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。